

お客様各位 元気通信

—— 私が社長です！ —— アパホテルの元気印

こんにちは！ 今年は台風の到来が少ないと思いきや、強烈な台風に見舞われてしまいました。幸い私の住む新潟では大きな被害も無く過ぎましたが読者様やご親族、社員さんたちにお怪我や被害が及んでいないことを願うばかりです。

さて、先日私は仕事の都合で京都に泊まったのですが、そのとき利用したのが「私が社長です！」のキャッチと帽子、派手な衣装で登場する社長で有名な「アパホテル」でした。チェックインをしようとフロントに行ったところ・・・なにこれ？！なんと元谷社長をキャラクターとした携帯ストラップがあったのです！何でもこれをもつと縁起が良くなるのか・・・そして部屋に入ると元谷社長の著書「元谷美子の幸せ開運術、続私が社長です」が備えてありました。7章構成で各章には運を開くキーワードが書かれています。例えば第1章「出会い運を開くキーワード 元谷美子は人間バリアフリー」第2章「仕事運を開くキーワード 挨拶は居合い抜き」などです。とにかく元気で破天荒とも思えるような行動を取る元谷社長には「これをやったらダメだ」とか「かつこ悪い」といったような体裁は通用しない。自分の直感を信じ、自分というキャラクターを最大限に活かし、あくまでもプラス発想で物事を進めていく凄さをこの本から感じ取りました。

この「アパマンション・アパホテル」は近年めざましい進撃をつづけていますが、最初に存在を知ったのは、かれこれ十年以上前？になるでしょうか、宮尾進の「日本の社長」という番組でした。旦那さんは不動産関係の会社社長で奥さんがホテル経営をしているという紹介で、そのときは「へえ、そうなんだ、おもしろいキャラクターの女性だなあ。ところでアパホテルって金沢だけかな？」などと思っていたのですが、それが今や全国展開。同じ女性、同じ経営者としてなんと自分はパワーが足りないことか！ 棚ボタなどない、運は自分で引き寄せるものだ！ あの帽子と衣装はさすがに真似できないけれど、元気印だけは真似たいものです。でもあの格好、一度してみたいなあ

日本の野鳥シリーズ

ホオジロは方言つかい？

生産部 佐藤 弘

ホオジロ科3種、即ちホオジロ・アオジ・ノジコのさえずりが聞き分けられると、バードウォッチャーとしてはベテランの域だという。私が自信をもって断定できるのはアオジとノジコだけだ。アオジは鈴を振る様な「チリリリ」が入り、ノジコは必ず「チーチー」で始まる。

そのどちらでもないのがホオジロ、と消去法で判断する。

ホオジロのさえずりは、そのリズムから「一筆啓上仕り候」と聞きなされるが、お終いまで歌いきる個体が100羽の内果たして1羽いるかどうか・・・。

そのバリエーションを挙げると、

「一筆啓」「一筆啓上」「一筆啓上仕り」「啓上仕り」もっとマジメに鳴けと言いたくなる。

この違いが、近くに良いお手本がないので未熟、まだ幼くて肺活量不足、両者まとめて個体差なのか、それとも地域差つまり方言なのか分からない。

そんな舌足らずを、その地名をつけて〇〇弁で鳴いていると言ったりする。本種を探すのは実に簡単で、必ず梢か枝先で天に向かって鳴いている。

ゴルフ駆出しで不動の四番打者だった頃、私のティーショットは狙いと90度違って、球はティー・グラウンド横、目の前のツツジの茂みに転がった。

枝を掻き分けるとホオジロの巣があり、まだ目も開かない四羽のヒナが、一斉に大口を開けてピーピー餌をねだる。

帰巢した親鳥と間違われた私はもう一度赤くなった。

クロツグミが、散策路から手が届くキンギンボクに営巣したし、ツバメは空き家を絶対に利用しないという。

鳥はヒトを恐れ警戒するが、ヘビやカラスをも恐れる。

そのヘビやカラスもヒトを恐れるから、鳥にしてみれば敵の敵であるヒトは味方となる。

ヒトは鳥に片思いされ密かに頼られている事に、皆様お気付きでしょうか。

牡蠣酒

殻付きの牡蠣を炭火で焼き良い匂いがして来たら
燗酒を注いで、グイッと一杯いかがですか。
中の牡蠣の身そのまま酒の肴にどうぞ。

霜月のころの楽しみです。

酒蔵さんとの長ーいおつきあい

第6話

新洋技研工業(株) 取締役会長 大辻英郎

今回はちょっと話題を変えて・・・

今、日本の経済は世界一の自動車産業のおかげで〇〇景気とまで言われているようです。たしかに私の所属する自動車関連異業種会の社長は、忙しいの連発です。ただし儲からない。メーカーからはコスト削減と研究開発、短納期クレームゼロを要求されてそれらの対応を出さなければハジキ出されると言っている。

又、液晶関連に関わる業者もメーカーの急速な設備投資でこれも忙しい。儲からないけれど会社は成長していることは事実です。

私どもの協力鉄工会社は今日までのステンレス加工技術が認められて忙しい日々を送っています。

世の中は変わりました。変化の連続です。それに対応するには若さが必要と2月の株主総会で社長を辞任した次第ですが、若いもの変わったとしても、急な経営の改善はできません。5年ほど前から、体質改善に取り組んできましたが成果はボツボツ、というところでしょうか。特に入社3~9年の若い人が技術、技能も向上しているのが喜ばしいと思っております。

私は、日本酒飲んで、日本酒風呂に入って、朝の顔に日本酒ローション で毎日元気です。

変わりましょう。変えましょう。思いを新しくして。 次号へつづく

越後七不思議

越後国に伝わる珍しいことがら七つ集めました

6. 焼鮎(やきフナ)

体に黒い焦げ目模様のついているフナ。

親鸞聖人が食膳のフナを池に逃がしたところ、不思議にもこのフナが生き返って泳ぎ出したと伝えられる。その焼鮎と聖人のお姿が大榎の枝の折れ口に現れ今でも安置されてあります。

7. 八房の梅(やつふさのウメ)

ひとつの花に八つの実がなる八重咲きのウメ。

親鸞聖人が食された梅の種を土に埋め、箸を地に挿し念仏を説かれたところ、箸は芽を生じて八葉の松となり、梅は英八花に咲いて実を結んだ。八房の梅は今も残っています。 新洋技研工業株式会社 URL=<http://www.shinyo.co.jp> e-mail=info@shinyo.co.jp

お勧めメルマガ

■売れたマーケティング、バカ売れトレーニング：売れたま！

～MBAの中小企業診断士がそっと教えるパワフルレッスン～

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＜発行者情報＞＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

●発行者：佐藤義典 ●発行頻度：月・木の週2回目標
●感想、質問、実行の結果などは para@Lpara.com へぜひどうぞ！

●<http://www.mpara.com> (マーケティングパラダイス)

マーケティングパラダイスはエルパラ(www.Lpara.com)傘下サイト

●購読の登録・解除はまぐまぐ、メルマ！、Macky! の各サイトか、
<http://www.mpara.com/mag.htm> (マーケティングパラダイス)で

●バックナンバー抜粋 <http://www.mpara.com/backno.htm>

Copyright 2003-2005 Yoshinori Sato



「小さな恋」に魅せられて **エッセイ** 生産部 島貫 修一

Liebele (リーベライ) その意味は「小さな恋」。

細身のボトルに入ったドイツのラインヘッセンの白ワインで、ラベルには男の子が女の子にキスしている絵が描かれている。

味はべたべたしないすっきりした甘口で、安物ワインのような渋みも強い酸味もなく飲みやすい。このワインを知ったのはある素敵な女性との出会いからだ。キャリアウーマンの彼女はワインの知識も深く、そんな彼女に勧められたのがこの Liebele。ワイン通が珍重する高価なブランド物の赤ワインと異なり、買うのに勇氣も大金もいらぬ。もっと多くの人にこのワインを知ってもらいたいが、流通量も扱っている店も少ないので、インターネットの通販を使わないと手に入りにくいのが難点。

ホームパーティーでワインを飲みながら、おいしい料理とおしゃべりを楽しんでいる時の彼女はとても魅力的。そして Liebele のさわやかな甘みと飲み心地にも心惹かれる。それは誰もが心の片隅に秘めている

遠い昔の思い出「小さな恋」のようだ。